

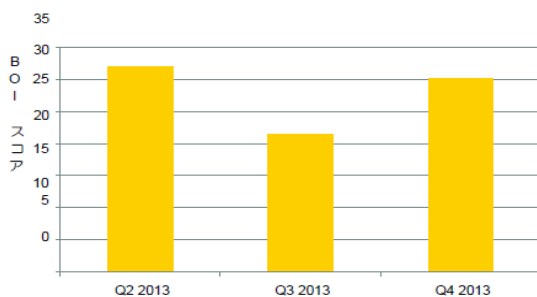
景況感は第 4 四半期も引き続き上向き

2013 年第 4 四半期見通し ハイライト

- ・景況感指数は+30.16%で、前四半期比 8.78%増
- ・最も楽観度が高かったのは売上高と純利益で、順に+35.8%、+35.0%
- ・前四半期比で増加率が最も大きかったのは在庫と販売価格で、順に 22.5%、20.0%

2013 年第 4 四半期の景況感指数（BOI）は、調査対象企業が、一般的に本年最終四半期の景況を楽観視していることを示しています。楽観的見通しから悲観的見通しを差し引いたネットの BOI は、前四半期の+21.38%から+30.16%へと堅調な伸びを見せました。回答企業の 38.85%（加重計算したネットの数値）が第 4 四半期のビジネス環境の改善を楽観視する一方で、8.69%（加重計算したネットの数値）は暗い見通しを示しました。

マレーシア経済は、第 2 四半期に前年比 4.3%成長しました。しかしながら、当局は、外部環境の低迷が長引いていることから長期的見通しについては慎重です。8 月、バンク・ネガラ・マレーシア（中央銀行）は、マレーシアの 2013 年の経済成長率は 4.5%から 5%程度との予測を発表しました。中央銀行は、国外需要の低迷に言及し、前回の予測を 0.5%下方修正しました。



製造業は、7 月、前年比 5.4%増の力強い成長を見せ、工業生産高全体を 7.6%押し上げました。7 月に伸びを見せた主要なサブセクターは、石油、化学、ゴム、プラスチック製品（8.8%）で、非金属鉱物製品、卑金属及び金属製品も 4.3%増加しています。輸送機器及び他の製造業も生産高が 9.2%増加したと報告しています。

財政赤字を阻止し、経常収支にてこ入れするために、政府は 9 月、一部のインフラプロジェクトを先送りする可能性があることを発表しました。ブルームバーグによれば、マレーシアの対 GDP 債務比率は 53.3%で、これはアジアの新興市場 13 カ国ではスリランカに次ぐ第 2 位の高さとなっています。

2013 年 9 月 3 日の燃料費値上げは、マレーシアの財政難の緩和には役立つものの、連鎖反応を引き起こす可能性が高く、輸送費はすでに約 11%上昇しています。経済学者の多くが、インフレ率が 7 月の 2%から、年末にかけて 3~4%に上昇すると予測しています。しかし、当局はこの状況は統制可能で、2013 年の全般的インフレ率を約 2~2.5%にとどめることに自信を持っています。

暫定的な公式データによると、マレーシアは 8 月、ASEAN 諸国、中国、欧州連合（EU）、オーストラリア、ブラジルへの輸出増加により、71.1 億リンギットの貿易黒字を記録しました。この輸出増加に貢献したのは、主に石油精製品、電気・電子製品、金属製品、化学物質・化学製品の輸出の伸びによるものでした。

マレーシアと中国は 10 月に 5 年間の連携協定に署名し、双方向の経済関係をより「包括的なレベル」にまで高めたいという強い希望を確認しました。これにより、二カ国間貿易は 2017 年までに 1 億 6000 万米ドルに増加する可能性があります。マレーシアは、中国へのゴム、ヤシ油、原油・ガス、電子部品の主要輸出国となっています。

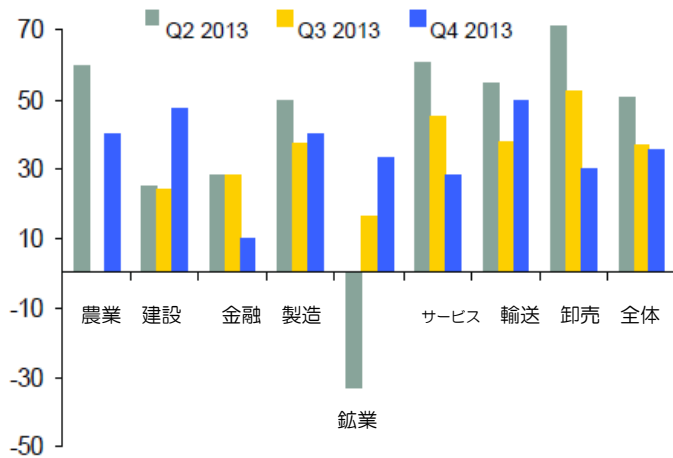
D&B 景況感指数－マレーシア



2013 年第 4 四半期

www.dnb.com.my

売上高

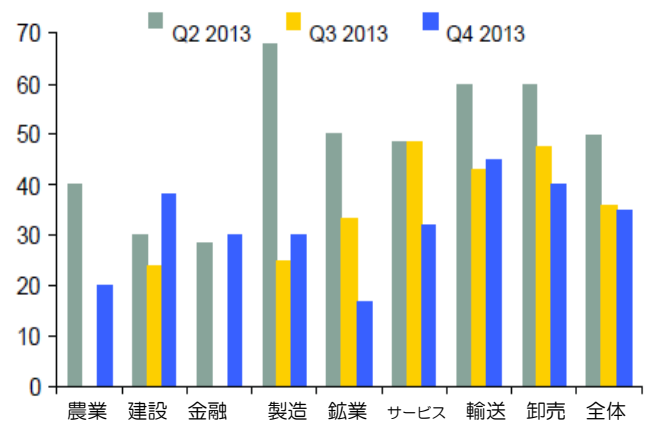


調査対象の全セクターが、第 4 四半期には売上高の増加を確信しています（ネット+36%）。この結果の主要な原動力となっているのは、輸送（ネット+50.0%）、建設（ネット+47.62%）、農業及び製造（いずれもネット +40.0%）セクターです。全体の結果は、第 3 四半期の見通しとほぼ同じ水準です。前四半期と比較して最も第 4 四半期の売上高に強気を見せているのは、農業セクターです。農業企業で売上高の減少を予測した企業は皆無でした。

純利益

調査対象企業の+35.0%（ネット）が、第 4 四半期に純利益が増加すると期待しています（楽観視 49.17%に対し悲観視 13.17%）。この結果の主な貢献要因になっているのは、輸送セクター（+45.0%）です。売上高の場合と同様に、純利益が減少する見通しを持った農業企業は皆無でした。全セクターが第 4 四半期の純利益に明るい見通しを持っています。

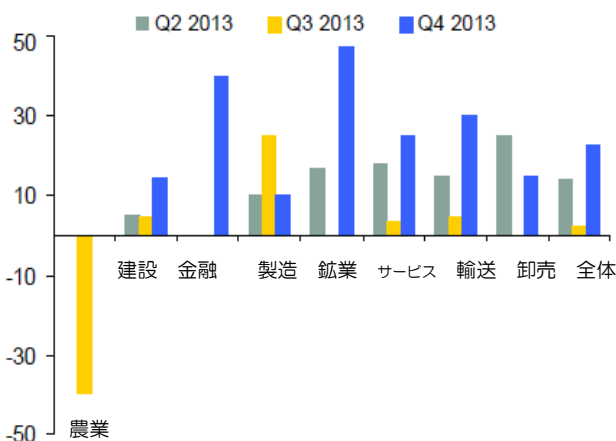
サポート役である輸送セクターは、他のセクター、特に製造業の成長の恩恵を受け、純利益が急増しそうです。短期的に農産品に対する世界的な需要が高まると予測されることから、マレーシアの農業企業は利幅の拡大を期待しています。



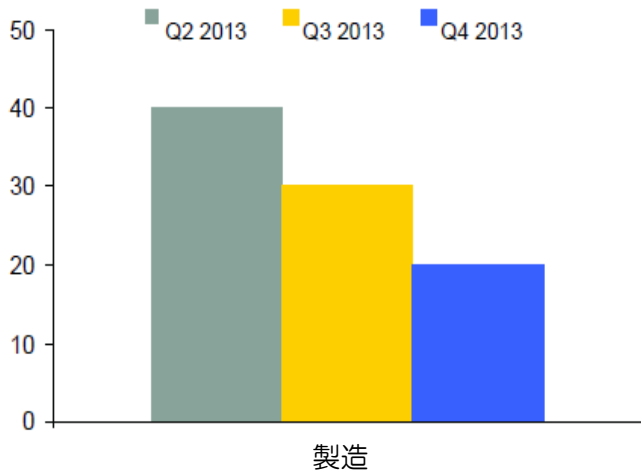
調査対象企業は、第 4 四半期に販売価格が上昇することを確信しています。鉱業企業が最も楽観的な見通しです。しかし、調査対象の農業企業は全社、販売価格は現状維持になると予測している注目です。そのため、全体のネットでの指数は+23.0%となりました。

天然資源の希少性と供給、中国をはじめとする様々な発展途上国からの恒常的な需要の高さにより、鉱業企業は第 4 四半期には販売価格が上昇すると予測しています。事業拡大に不可欠なサービスを提供する金融セクターも、年終盤の見通しの改善により販売価格が上昇すると見込んでいます。

販売価格



新規受注



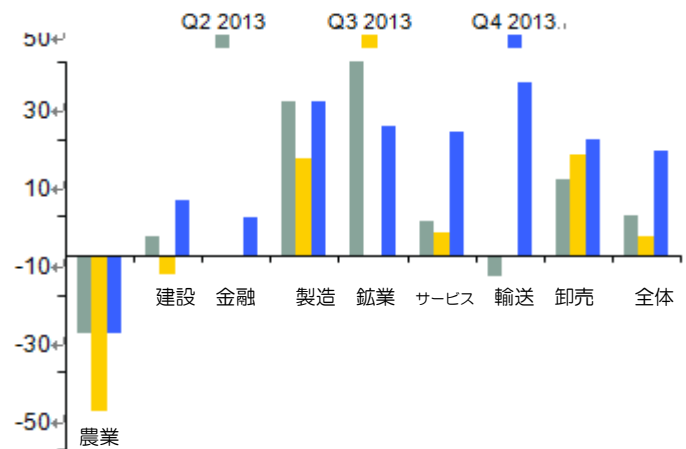
外部環境に不確実性が残るとは言え、グローバル経済が徐々に回復していることから、製造業全体として、新規受注の増加を見込んでいます。新規受注が減少すると回答した企業はありませんが、大半の企業は第 4 四半期の状況には慎重な見通しを持っています。製造企業は新規受注について引き続き慎重ながらも楽観視しています。これは 7 月の工業生産高の力強い伸びに起因しているようです。伸びを見せた主要なサブセクターは、石油、化学、ゴムなどでした。

※なお、新規受注の調査対象は製造企業のみです。

在庫

2013 年第 4 四半期の在庫に関する景況感指数は、2012 年第 4 四半期と同じ 2%にとどまりました。これは、2013 年第 3 四半期からは 1 ポイント増という結果です。

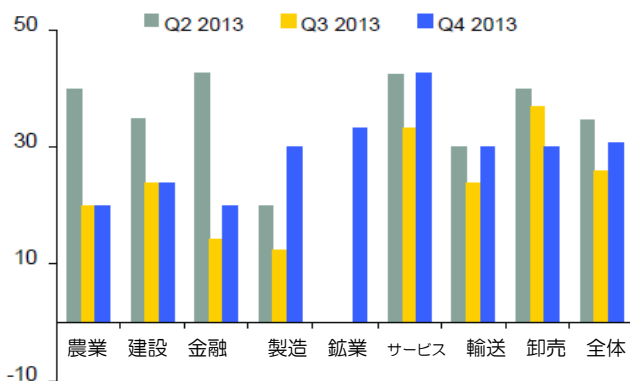
回答者の大多数（95%）が在庫については横ばいと予測する一方、改善を見込んでいる回答者は 3%にとどまりました。在庫の減少を予測している回答者は 1%でした。この指標に関して比較的楽観しているセクターは、卸売、輸送、農業でした。



調査対象企業は雇用についても明るい見通しを持っています。サービス業（ネット+42.86%）に牽引され、全体の指数は+31.0%となりました。他に雇用を創出している主なセクターは、鉱業（ネット +33.3%）、製造、卸売、輸送セクター（いずれもネット +30.0%）です。農業企業で第 4 四半期に雇用状況の反転を予測した企業はありませんでした。

サービス業では堅調な国内需要に対応するための雇用創出により、雇用情勢は引き続き明るいものになりそうです。製造業も今後数カ月拡大が見込まれるため、生産ニーズを満たすための人員強化を行っています。

従業員数



景況感指数（BOI）レポート

D&B 景況感指数レポートは、ビジネス界が景気に対して抱く印象を測定したもので、投資家にとって信頼できるベンチマークになる商品として評価されています。D&B 景況感指数は、四半期毎の景況感調査に基づいて出されます。長年のうちに、この四半期毎の調査は、対象各国の経済活動のターニングポイントを示す有数の指標になってきました。

調査方法

本調査の実施において、サンプルは農業、鉱業、建設、製造、輸送、卸売、金融、サービス、公共事業などの業種の企業により構成された D&B データベースから無作為に抽出しています。

本調査回答者全員に、所属企業が売上高、純利益、販売価格、新規受注、在庫、従業員数という重要指標に関して、次の四半期は前年同期比で増加するか、減少するか、変わらないか見通しを示していただくという 6 つの標準的質問にご回答いただきました。各要素の指数については、増加すると予測した回答者のパーセンテージから、減少すると予測した回答者のパーセンテージを差し引いて計算しました。特に断りがない限り、各指数の増減は前四半期からの増減を指しています。

詳細については、当社ウェブサイト（www.dnb.com.id）をご覧ください。当社カスタマー・サービスセンターへお電話（+62 21 57900979）またはメール（csr@dnb.co.id）でお問い合わせ下さい。



Decide with Confidence

ダン・アンド・ブラッドストリート®（D&B）について

ダン・アンド・ブラッドストリート（NYSE:DNB）は、商業情報およびビジネスインサイトを提供する世界有数の情報提供企業であり、172年にわたって企業の「Decide with Confidence®（確信のある意思決定）」を支援してきました。D&Bのグローバル商業データベースには、2億2500万件以上のビジネスデータが記録されており、お客さまに質の高いビジネス情報を提供するD&B独自のDUNSRight®品質保証プロセスが、このデータベースを強化しています。この質の高い情報は、お客さまが重要なビジネス決定を行う上で信頼を寄せている当社のグローバルソリューションの基礎となっています。

詳細については、当社ウェブサイト（www.dnb.com）をご覧ください。